

除雪現場の省力化による生産性・安全性向上を目指す プラットフォーム『i-Snow』（第3回）を開催

～除雪機械のワンマン化を目指した産学官民連携の取組～

産官学民が連携して除雪現場の省力化に資する技術開発等に取り組む第3回プラットフォーム「i-Snow」を下記のとおり開催します。

今回は、各機関で行った今年度の各種取組結果報告や、平成30年度に国道334号知床峠で行う除雪省力化実証実験の計画（案）について、意見交換を行います。

近年、北海道内では、異常気象による暴風雪等の冬期災害が頻発する傾向にあり、長時間の通行止めが発生しています。そのため、北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）が掲げる「強靱で持続可能な国土の形成」の実現に向けた取組を関係者が連携し、より強靱に推進していく必要があります。

他方、除雪作業に携わるオペレータ等の高齢化が進行するなど、担い手の確保等の課題があることから、さらなる除雪現場の効率化を図ることが求められています。

北海道開発局では、積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組を進めており、その一環として、産学官民の幅広い連携を確保しながら除雪に関する課題の解決を図るためのプラットフォーム「i-Snow」を平成29年3月28日に発足し、これまでに2回のプラットフォームを行っています。

記

日時：平成30年3月28日（水）10:00～

場所：TKP札幌駅カンファレンスセンター3階 3Bルーム（札幌市北区北7西2-9）

議事次第：別紙-1参照

その他：報道関係の方は傍聴可能です。なお、カメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただきます。希望される方は、別紙-2のFAX用紙にて3月26日（月）15時までに御連絡ください。

過去のプラットフォームの会議資料等は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat0000010dmm.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 機械課 課長補佐 なかやま 中山 かつみ 克己（内線 5394）

建設部 道路維持課 課長補佐 すずき 鈴木 よしひと 善人（内線 5383）



平成29年度 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム『i-Snow』 < 第3回 >

日時 : 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 10 : 00 ~
場所 : TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3 階 3B ルーム
(札幌市北区北 7 条西 2 丁目 9)

議 事 次 第

I. 開 会

II. 挨拶

国土交通省北海道開発局 建設部長 原 俊哉

III. 事務局報告及び説明

- (1) プラットフォームメンバー・オブザーバーの紹介
- (2) その他

IV. 議 事 (資料説明と質疑応答)

1. H 29 年度の取組
 - (1) 知床峠実証実験に向けた取組
 - (2) 準天頂衛星を活用した除雪車運転支援システム
2. H 30 年度 知床峠実証実験 (案)
3. その他
 - (1) 道の駅コスモール大樹町での自動運転バス実証実験
 - (2) 知床における定点観測と除雪車移動軌跡観測
 - (3) 北海道の自動走行に関する「ワンストップ窓口」
 - (4) 除雪従事者の労働実態に関するアンケート調査

V. 総 括

VI. 閉 会

FAX 通信連絡票

北海道開発局 道路維持課 行

(FAX : 0 1 1 - 7 0 9 - 8 9 5 6)

**件名 : 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組
プラットフォーム「i-Snow」(第3回)の傍聴申込み**

下表のとおり申し込みます。

会社名(所属)	氏 名	電 話 番 号

※ご記入頂いた個人情報は、本プラットフォームの開催に関する連絡以外では使用しません。

プラットフォームの活動概要(全体)

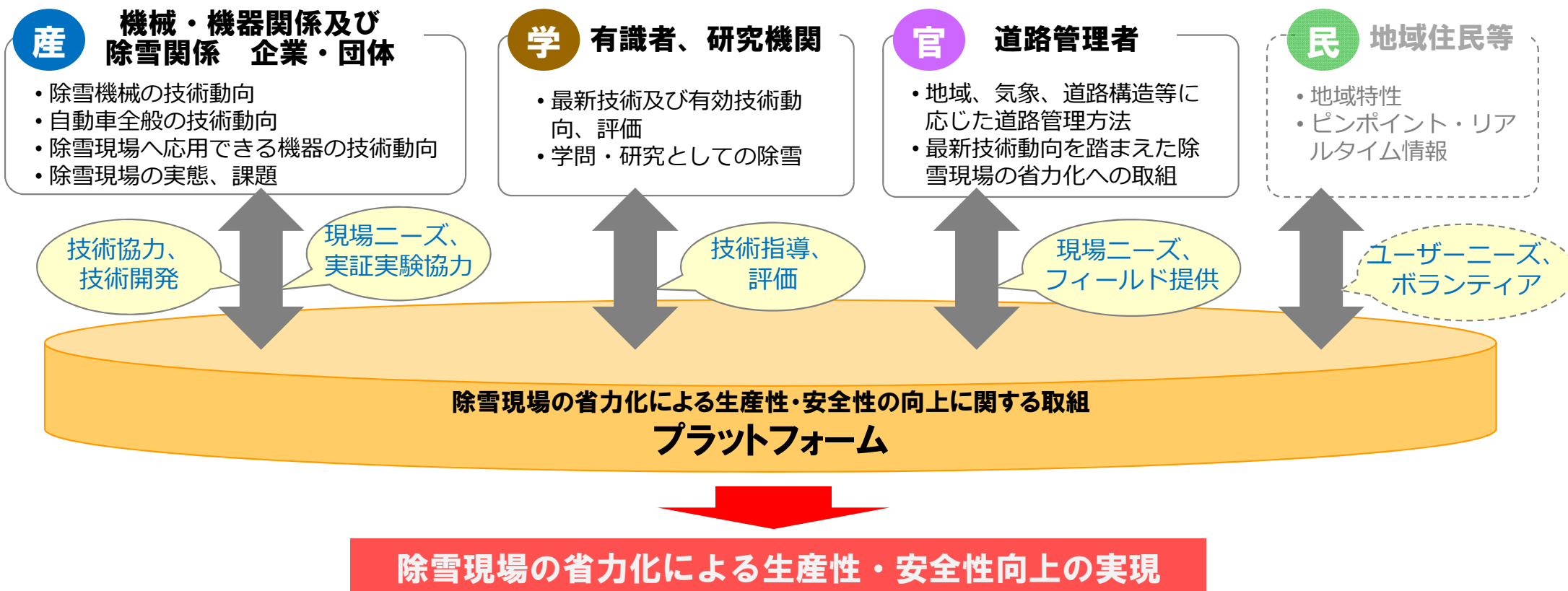
【活動の背景・目的】 ※平成29年3月28日 第1回プラットフォーム資料抜粋

- 本プラットフォームは、近年の除雪現場における課題（異常気象等に伴う冬期災害や通行止めの頻発、除雪車オペレータの高齢化に伴う人員確保など）に対応するための活動を展開し、もって生産性・安全性の向上に資する除雪現場の省力化を進める。
- 北海道における除雪関係者が除雪現場、除雪技術等に関する横断的な連携・情報共有を図ることで、除雪現場の省力化を進め、生産性・安全性を向上させるとともに、人口減少下でもヒトとモノの交流・対流を活性化できる産業構造、経済活動を維持・発展させる。

【活動内容】

- 除雪現場及び除雪技術に関する情報共有（除雪現場の課題、研究・開発の動向、既開発技術の掘り起こし等）
- 除雪現場の改善への取組（除雪施工方法、除雪機械、除雪体制 等） 等

【活動のイメージ】



除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組プラットフォーム構成員

<有識者>

北海道大学 大学院工学研究院 萩原 亨 教授

北海道大学 大学院農学研究院 野口 伸 教授

<行政機関>

国土交通省 北海道開発局

東京航空局 新千歳空港事務所

北海道

札幌市

東日本高速道路株式会社 北海道支社

<研究機関>

国立研究開発法人 寒地土木研究所

<関係団体等>

一般社団法人 日本建設機械施工協会北海道支部

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北海道支部

i-Snow



昭和30年代のロータリー除雪車

Smart

賢い、機敏な

nice

魅力的な、快適な

Operation

操作、運転

Work

除雪作業

(for snow removal work)

プラットフォームを多くの道民・国民に認知されることを目的に検討。
第1回プラットフォームで了承されました。